

国語科学習指導案

授業者 広島市立庚午中学校
教諭 津田 智子

- 1 日 時 平成22年11月26日(金)
- 2 学年・組 第1学年7組(男子19名 女子16名 計35名)
- 3 指導事項
 - ①「C読むこと」 オ
文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。
 - ②〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ(ウ)
事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。
- 4 単元名 『蓬萊の玉の枝 ―「竹取物語」から―』
- 5 言語活動 語彙に注目して、様々な文章を読み、内容や表現の仕方について考え、語感を磨くこと。
- 6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・古文で表現される言葉に注目して、ものの見方や考え方を広くしようとしている。	・文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解している。	・文章を読んで、事象や行為などを表す語句について理解を深めるとともに、文章の中の語彙について関心をもっている。

7 単元について

○ 生徒の状況

4月より様々な教材を通して、語感や意味の違いを説明する活動を取り入れている。日常生活を振り返りながら、違いをイメージすることはできるが、違いを言葉で説明することは苦手な生徒が多い。また、その違いからものの見方や考え方にまで思いを深めるところには至っていない。授業においては、ペア学習や少人数のグループ活動を多く設定してきた。そのため、話し合い活動には慣れており、楽しみながら取り組むことは出来ている。

○ 教材の価値

本教材は、中学校での古典学習のスタートとして位置づけられている教材である。昔の人のものの見方は現代の私たちにも通じるものがあり、現代とのつながりを意識して学習をすすめることで、学習への負担感を少なくでき、古典との出会いをスムーズにできる教材であると考えている。また、『枕草子』では、「うつくし」の語例が多く登場する。「うつくし」の意味のバリエーションを考える材料となり、昔の人のものの見方や考え方をとらえることのできる教材である。

○ 指導の工夫

思考を深めるために、身近なことばに着目し、自らの日常生活を振り返りながら考えさせる。また、他者との意見交流を通して自らの考えを深めるために、少人数のグループ活動を取り入れる。

8 単元の学習と評価の計画

次	時	学習活動(評価方法)
一	1	『枕草子』の文章を音読する。(プリント)
	2	昔と今の「うつくし(美しい)」の違いについて考える。(ワークシート) <本時>
二	3	本文を仮名遣いに気を付けて音読し、古文のリズムに慣れる。(音読確認票)
	4	「うつくし」に注目して冒頭の場面からかぐや姫の生い立ちを読み取る。(ノート)
	5	くらしの皇子の語りの場面について「うれしきことかぎりなし」に注目して、話の内容を読み取る。(ノート)
	6	別れの場面とその後の場面について登場人物の心情を読み取る。(ノート)
	7	昔と現代の共通点・相違点について考える。(ワークシート)

9 本時の目標

身近な言葉を取り上げ、言葉のもつ意味の多様性を考えることによって、言葉に表れているものの見方や考え方に気づくことができる。

10 本時の目標を達成するための言語活動

自らの日常生活を振り返り、身近なことばの使い分けについて話し合う。

11 学習展開

授業過程	学習活動	指導上の留意事項	評価基準[評価方法]
確認 意欲付け (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ●『竹取物語』 <p>ワークシートを読み、「うつくし」の意味を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文・現代語訳を読み、「うつくし」に注目させる。 ・歴史的仮名遣いなどについては、簡単な説明を加える 	<ul style="list-style-type: none"> ・「うつくし」が現代と違う意味であることに着目できたか。[ワークシート][挙手・発言]
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ●目標の提示 ●昔の「うつくし」 『竹取物語』 『枕草子』 <p>昔の人々がどのようなものを「うつくし」と表現していたかについて考える。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・現代語訳に注目し「うつくし」と表現したのを見つけて出すことができているか。
	<p>「現代のわたしたちは、どんなものを「うつくしい」・「かわいらしい」と表現するだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現代における「うつくしい」と「かわいらしい」の区別について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を行う。 <p>Cと判断した生徒に対する手立て 仲間の意見を聞き、それに対して、自らの経験をあわせて具体的な事物を思い起こすよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの意見をホワイトボードに書き、黒板に掲示させる。 	<p>A:日常生活を振り返り、具体例を積極的に挙げることができ、集まった意見について比較したりまとめたりしようとしている。</p> <p>B:日常生活を振り返り、具体例を挙げるができている。 [観察・発言]</p>
日常化 一般化 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ●本時のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを見返して本時の目標を意識させる。 	

